

からむしの組織培養による苗増殖法

福島県農業試験場野菜部・平成9・10年度農業試験場成績概要

1 部門名 特用作物ーからむしーバイテク 06-99-73000000

2 要 旨

(1) 初代培養

ア 5月上旬に、5節程度に生育した植物体を採取し、葉を切除した後に、MS培地(シヨ糖3%、寒天0.7%、pH5.8)に、節毎に分割移植する。

イ 20℃、2,000lux、18時間照明下で培養する。

(2) 増殖

ア 初代培養で得られた植物体が、5節前後に生育したら、節毎に分割移植する。

イ 以後、培養個体が5節程度に生育したら、随時分割移植して増殖する。

ウ 培地と培養条件は、初代培養と同じである。

(3) 鉢上げ

バーミキュライトを使用して、保湿、水分管理に留意すれば、鉢上げ時の損失はほとんど無い。

(4) 留意点

ア 初代培養に供する母植物は、優良系統であることを確認すること。

イ 初代培養時の培養個体獲得率は、外植体の除菌が困難で、10～20%である。

ウ 6月以降の植物からは、培養個体が得られない。

エ 初代培養個体が、分割移植目標の5節程度に生育するまで約6ヶ月である。

オ 培養個体獲得後の増殖率は、6ヶ月で約30倍である。